

江 監 第 7 号  
平成22年3月29日

江 田 島 市 長 様  
江 田 島 市 議 会 議 長 様  
江 田 島 市 教 育 委 員 会 教 育 長 様

江田島市監査委員 栗本 勲二

江田島市監査委員 林 久光

### 財政援助団体等に対する監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等に対する監査を実施したので、同法同条第9項、第10項及び江田島市監査委員条例第10条の規定に基づき、その結果及び意見を報告します。

# 目 次

	ページ
第1 監査の期間	1
第2 監査の対象	1
第3 監査の方法	1
第4 監査の結果	1
1 江田島市防犯連合会	2
2 江田島市交通安全協会	3
3 江田島市女性連合会	5
4 江田島バス株式会社	6
5 社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会	9
6 江田島市老人クラブ連合会	10
7 社団法人 江田島市シルバー人材センター	12
8 農事組合法人 マリン・マム	14
9 呉農業協同組合	15
10 江田島市観光協会	16
11 江田島市商工会	17
12 江田島市体育協会	19
第5 終わりに	20

(注) 文中及び表中の数値は、次のとおり表示もしくは算出しているため合計及び差額等が一致しない場合がある。

数字は百円値を四捨五入し、千円単位で表示した。

比率(%)は、原則として少数点以下第2位を四捨五入し、少数点以下第1位までを表示した。

赤字(損失)は「 」で表示した。

## 第1 監査の期間

平成22年3月4日(木)～平成22年3月26日(金)

## 第2 監査の対象

補助金等に関する事務の執行状況，経営に係る事業の管理状況

## 第3 監査の方法

財政援助団体のうち，平成20年度に500万円以上の補助金の交付を受けた団体及び新市誕生により設立された交付団体の12団体を抽出して実施した。

旧町時の組織が合併，統合されて新組織となった団体については引継時の資産，負債等が正しく計上されているか，又補助金対象事業が適正に執行されているかに主眼をおいた。

なお，上記団体については事前に必要な書類の提出を求めて，書類を基に調査し，平成22年3月4日に5団体，3月5日に6団体，3月9日に1団体について現地調査を実施した。

## 第4 監査の結果

財政援助団体の決算書，事業報告書及び必要書類を監査した結果，関係法令に準拠して適正に作成されており，その計数は関係諸帳簿と符合し，営業成績及び財政状況を適正に表示されているものと認めた。

概要と監査意見(まとめ)は，各団体とも末尾のとおりである。

## 1 江田島市防犯連合会

所在地 江田島市能美町中町4859番地9

設立 平成17年6月17日

役員 会長 中島 勝  
副会長 小方 憲三  
長坂 方之  
理事 熊倉 町子  
今宮 浩二  
監事 池田 真純  
二矢川 謙吉

事業 1. 防犯思想の啓発宣伝及び地域安全・安心活動の普及・促進  
2. 青少年の健全育成  
3. 関係機関及び団体との連絡協議  
4. 地域住民に対する安全情報の提供  
5. 防犯対策の総合調査及び研究  
6. 防犯及び風俗環境の浄化等に功労のある者(団体)の表彰  
7. 財団法人広島県防犯連合会が行う活動への協力  
8. その他、この会の目的を達成するために必要な事業

沿革 旧町の防犯連合会が、新市誕生により江田島市防犯連合会として設立された。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 1,297,000円

平成20年度補助金額 1,167,000円

1. 事業計画書、予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書、実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額、受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における預金の残高は、預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 規約は整備されている。

### まとめ

「安全・安心で住みよい江田島市」の実現を目標に、犯罪を減らすための活動、少年の非行防止及び健全育成活動、けん銃・薬物・暴力追放活動、関係機関団体との連携強化による活動等を精力的にされており、その結果、年々非行少年の補導件数は減少傾向にある。今後も役職員一丸となって活動されることを望む。

## 2 江田島市交通安全協会

所在地 本 所 江田島市江田島町中央4丁目13番1号  
能美支部 江田島市能美町中町4859番地9  
江田島支部 江田島市江田島町中央一丁目1番1号  
沖美支部 江田島市沖美町畑358番地  
大柿支部 江田島市大柿町大原505番地

設 立 平成18年6月2日

役 員 会 長 扇 谷 照 義  
副会長 大 桜 博  
中 島 勝  
小 方 芳 次  
理 事 31名(会長,副会長を除く)  
評議員 31名  
監 事 3名

会員数 2,470名 平成19年度(運転免許更新者数)  
2,187名 平成20年度( " )

事 業 1.交通安全意識の普及高揚と交通事故防止のための広報活動及び啓発活動  
2.交通関係功労者及び団体並びに優良運転者の表彰  
3.財団法人広島県交通安全協会の行う各種事業に関する協力及び連携  
4.その他本会の目的を達成するために必要な事業

沿 革 江能交通安全協会が新市誕生により,平成18年6月2日付けで江田島市交通安全協会として発足した。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 1,171,000円

平成20年度補助金額 1,050,000円

- 1.事業計画書,予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書,実績報告書の数値と相違ないと認めた。
- 2.補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額,受領金額は適正に処理されている。
- 3.補助金等対象事業の収支状況は,決算書に詳細に記載され適当と認める。
- 4.期首及び期末における現預金の残高は,現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
- 5.会則は整備されているが,旅費規程等を整備されたい。

## まとめ

江田島市において高齢者の数は年々増加しており、交通の安全を守るためには高齢者の安全運転の指導が必要不可欠である。交通パレードやマラソン・駅伝大会等各種イベントを通して、地域住民の交通安全意識の普及高揚、交通事故防止等に努められることを望む。なお、各支部へ活動費として支出されているが、事業報告・収支計算書及び期末残高が確認できる通帳の写し等の提出がなされていないので、今後は年度末に、これらの書類を提出させて本所において管理把握されたい。

### 3 江田島市女性連合会

所在地 江田島市大柿町大君 1 3 1 番地 2

設 立 平成 1 7 年 5 月 2 9 日

役 員 会 長 熊 倉 町 子  
副会長 滝 口 久 子  
下河内 嘉代子  
書 記 中 野 陽 子  
大 方 久 恵  
会 計 重 田 真 澄

会員数 1, 9 7 8 名 平成 2 0 年度資料による  
内訳 江田島町 4 2 7 名 能美町 4 3 4 名  
沖美町 2 2 7 名 大柿町 8 9 0 名

目 的 1 . 女性相互間の教育並びに地位向上  
2 . 青少年の健全人権尊重  
3 . 家庭及び社会環境の刷新  
4 . 地域社会と福祉増進のニーズに応じた実現のため相互の連絡提携を図る

沿 革 新市誕生により江田島市女性連合会として設立された。

江田島市から交付された平成 1 9 ・ 2 0 年度の補助金額は下記のとおりである。

平成 1 9 年度補助金額 1 3 0 , 0 0 0 円

平成 2 0 年度補助金額 1 0 0 , 0 0 0 円

- 1 . 事業計画書, 予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書, 実績報告書の数値と相違ないと認めた。
- 2 . 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額, 受領金額は適正に処理されている。
- 3 . 補助金等対象事業の収支状況は, 決算書に詳細に記載され適当と認める。
- 4 . 期首及び期末における預金の残高は, 預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
- 5 . 会則等の不備が見受けられたので整備されたい。

#### まとめ

少子高齢化社会が進み, 安心して暮らせる社会の実現のためには女性会の協力は不可欠である。財政的に厳しい状況であるが, 子どもとの交流及び地域社会の行事, 公衆衛生推進運動等により一層励み, 新たに家庭及び社会環境問題に取り組まれることを望む。

#### 4 江田島バス株式会社

所在地 江田島市能美町中町4 5 5 3番地1

設立 平成20年4月1日

事業 1. 一般貸切旅客自動車運送事業  
2. 一般乗合旅客自動車運送事業  
3. 特定旅客自動車運送事業  
4. 旅行斡旋業  
5. 損害保険代理店業  
6. 清涼飲料, 果樹飲料販売業  
7. 貨客運送取扱業  
8. 酒類, 煙草, 食料品販売業  
9. 飲食店業  
10. 一般小型自動車運送事業  
11. 上記各号に付帯する一切の事業

発行済株式総数 5,400株

資本金 1億円 資本剰余金 1億7千万円 合計 2億7千万円

株主名簿	株主名	持株数(株)	金額(千円)	持株比率(%)
	江田島市	5,240	262,008	97.04
	江田島市企業局	40	1,998	0.74
	(株)広島銀行	40	1,998	0.74
	芸備商船(株)	40	1,998	0.74
	菱鹿運輸商事(株)	40	1,998	0.74

役員	代表取締役	蓮田 勉
	常務取締役	山藤 孝則
	取締役	峯崎 昭輝
		吉岡 克実
		正井 嘉明(副市長)
	監査役	近藤 正俊

従業員 総務課 2名 平成22年2月5日現在(代表取締役, 常務取締役, 取締役除く)

運行課 22名

海運課 11名(うちパート4名)

沿革 昭和63年4月7日を以って呉市交通局が運行していた江能線のうち, 江田島(小用)~大柿線を残して旧能美町, 沖美町, 大柿町の一部バス路線が廃止されることになり, 昭和62年12月9日付で廃止路線代替バス会社として, 旧四町, (株)広島銀行, 他個人3名, 合計8名の発起人により能美バス株式会社が設立された。

平成元年5月からは自主路線も開設され, 平成20年4月1日には呉市交通局の路線を引き継ぎ, 江田島市内の路線を一元化した江田島バス株式会社とし



て社名変更し、高齢者の利便性や通勤通学者の交通手段として運行されている。

第22期(自平成20年10月1日至平成21年9月30日)決算状況は次のとおりである。

バスの走行実績は、乗合、みなし4条、貸切合わせて710,884kmである。

乗合バス 全実車走行キロ数 458,394km

貸切バス 全実車走行キロ数 252,490km

貸借対照表  
平成21年9月30日 (単位：千円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産 (うち現預金)	176,469 (169,019)	流動負債	68,666
固定資産	102,902	固定負債	2,665
		純資産	208,040
		(資本金)	(100,000)
		(資本剰余金)	(170,000)
		(利益剰余金)	(61,960)
資産合計	279,371	負債・純資産合計	279,371

損益計算書  
自平成20年10月1日至平成21年9月30日 (単位：千円)

項目	金額	差引合計額
純売上高	169,677	
売上原価	10,632	
売上総利益		159,045
販売費及び一般管理費	204,269	
営業外収益	41,406	
営業外費用	1,637	
経常利益		5,455
税引前当期純利益		5,455
法人税、住民税及び事業税	309	
当期純利益		5,764

第22期決算による財務状況は、資産では流動資産176,469千円(うち現預金169,019千円、現預金及び未収入金173,825千円)、固定資産102,902千円、合計279,371千円となっている。これに対して負債・純資産は、流動負債68,666千円、固定負債は2,665千円、純資産は208,040千円である。

財務の流動性、安全性をみるための財務比率は次のとおりとなっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力を示すもので通常200%以上が理想とされているが、決算数値は257.0%と資金繰については良好である。

当座比率については100%以上が望ましく253.1%と支払資金の調達については良好な状態である。

次に損益部分はバス部と海運部となっており、純売上高は169,677千円のうち、バス部127,052千円、海運部42,625千円である。

これに対して、販売費・一般管理費合計で204,269千円で差引34,592千円の経費超過となっている。特に直接人件費が135,980千円となっている。

海運部の主業務は、高田棧橋、中町棧橋における市交通船に対する乗船券の発券業務、乗下船客の誘導等である。

第22期決算書に基づいて総勘定元帳、各補助簿を詳細に監査した結果適正に処理されていると認めた。期末における現預金等も金融機関の残高証明によって相違ないことを確認した。

## まとめ

江田島バス株式会社に社名変更して平成20年4月1日より江田島市内一円の路線が一元化されるも、今後、自家用車の普及及び人口の減少に伴う利用者の減少が想定され、経営環境は引き続き予断を許さない状況である。市民の生活路線バスとして維持することは当然であるが、収益を求めることも必要であることを認識し、更なる経費の削減に取り組まれることを望む。

## 5 社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会

所在地 江田島市能美町鹿川2060番地

設立 平成16年11月1日

役員 会長 大津克彦  
副会長 中村博政  
理事 8名(会長,副会長を除く)  
監事 2名

事業 1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施  
2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助  
3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査,普及,宣伝,連絡,調整及び助成  
4. 上記のほか,社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業  
5. 保健医療,教育その他社会福祉と関連する事業との連絡  
6. 共同募金事業への協力  
7~22 略

沿革 社会福祉法人江田島市社会福祉協議会の設立前は,旧四町で社会福祉協議会が存立していたが,新市誕生と同時に合併して設立されたものである。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 34,200,000円

平成20年度補助金額 34,200,000円

1. 事業計画書,予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書,実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額,受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は,決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 定款・諸規程等はすべて整備されている。

### まとめ

少子高齢化,地方の過疎化が進行し地域社会を取り巻く環境は急激な変化を遂げている。このような状況の中で,地域福祉活動は益々重要となり,江田島市社会福祉協議会はその中核を担っている。また,財政面に於いては厳しい状況が続くことが予想されるが,経営全般の見直し,経営基盤の充実と強化を図り,役職員一丸となって支援活動をされることを望む。

## 6 江田島市老人クラブ連合会

所在地 江田島市江田島町中央一丁目3番21号

設立 平成16年11月22日

役員 会長 森 側 徳 夫  
副会長 川 野 保  
猪 子 嘉 生  
尾 勢 強  
女性部長 中 元 信 子  
理事 13名  
監事 2名

会員数 3,725名 各町平成21年度総会開催日現在  
内訳 江田島町 1,363名 能美町 995名  
沖美町 254名 大柿町 1,113名

事業 1. 県老人クラブ連合会との連絡提携  
2. 市内の老人クラブ連合会との連絡及び調整  
3. 老人クラブに関する調査研究  
4. その他目的達成に必要な事業

沿革 旧町の老人クラブが江田島市になったのを機会に、江田島市老人クラブ連合会として発足した。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 8,285,000円

〔うち町老連配分金 江田島町 2,571,480円 能美町 2,130,102円〕  
〔 沖美町 658,904円 大柿町 2,085,514円〕

平成20年度補助金額 8,285,000円

〔うち町老連配分金 江田島町 2,647,000円 能美町 2,093,000円〕  
〔 沖美町 574,150円 大柿町 2,167,950円〕

1. 事業計画書、予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書、実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額、受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 規約の不備が見受けられたので整備されたい。
5. 補助金申請に係る書類の一部の欠落が見受けられたので、書類の整備には十分配慮されたい。

## まとめ

市民一人一人が生涯にわたって安心して生きがいを持って過ごすことができ、誰もが長寿を喜ぶことができる心豊かな長寿社会の形成が望まれる。行事等に自ら参加して高齢社会の問題を自分自身の課題として考えるとともに、世代間の交流や高齢者の社会参加の重要性について、指導されることを切望する。

## 7 社団法人 江田島市シルバー人材センター

所在地 本 所 江田島市江田島町中央一丁目15番15号  
大柿支所 江田島市大柿町大原1118番地2

設 立 平成17年4月1日

役 員 理事長 風呂井 侃  
副理事長 豊 島 喜登志  
常務理事 二 井 省 三  
理 事 15名 (理事長, 副理事長, 常務理事を除く)  
監 事 2名

会員数 208名 平成21年3月31日現在

事 業 1. 臨時的かつ短期的な就業(雇用によるものを除く。)又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものを除く。)を希望する高齢者のために, これらの就業の機会を確保し, 及び組織的に提供すること  
2. 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業(雇用によるものに限る。)を希望する高齢者のために, 無料の職業紹介事業を行うこと  
3. 高齢者に対し, 臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと  
4. 前3号に掲げるもののほか, 臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業を通じて, 高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うこと

沿 革 平成4年10月20日設立の江田島町シルバー人材センターが江田島市となったため旧大柿町高齢者事業団と合併し, 平成17年4月1日付けを以って社団法人江田島市シルバー人材センターとして発足した。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 9,800,000円

平成20年度補助金額 9,800,000円

1. 事業計画書, 予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書, 実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額, 受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は, 決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における現預金の残高は, 現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 定款・規約・諸規程等はすべて整備されている。

## まとめ

急速な高齢化が進展するなかで、高齢者が長年培った知識・経験・技能をいかし、自発的な働く意欲と希望によりその能力を発揮できる就業の機会を提供し、活力ある地域社会づくりに少しでも寄与できるよう、尽力されることを望む。

## 8 農事組合法人 マリン・マム

所在地 江田島市沖美町是長308番地

設立 平成19年12月11日

役員 組合長理事 小林 秀 幸  
理事 岩井 政 樹 里岡 義 憲 大方 俊 治  
下川 俊 治 田中 正 彦  
監事 坂田 正 成

事業 1. 農業の経営  
2. 上記の事業に付帯する事業

沿革 組合員の協働により農業の経営を行うことによって組合員の経済的地位の向上を図ることを目的として、平成19年12月11日に設立された。

江田島市から交付された平成19年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 1,900,000円  
(うち県補助金額 1,266,000円)

1. 事業計画書、予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書、実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額、受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 定款、規約は整備されている。

### まとめ

広島県の園芸産地構造改革推進事業を活用して、施設・機械等の整備やほ場の条件整備を図り、遊休農地の解消、新しい担い手の確保、地元雇用の創出を目的に小菊と放牧を主体とした経営が行われている。産地は高齢化による離農などにより、遊休農地が年々増加しているが、法人が新規就農者の受け皿となり、担い手の育成・確保に努め規模の拡大に繋がることを期待する。



## 9 呉農業協同組合

所在地 呉市西中央一丁目2番25号

設立 平成15年4月1日

役員 代表理事組合長 北 條 信 雄  
代表理事専務 重 本 貞 雄  
代表理事常務 岩 井 一 彦  
常 務 伊 藤 修 史  
理 事 22名(代表理事組合長,代表理事専務,代表理事常務,  
常務を除く)  
監 事 6名

事業 1. 組合員のためにする農業の経営及び技術の向上に関する指導  
2. 組合員の事業又は生活に必要な資金の貸付け  
3. 組合員の貯金又は定期積金の受入れ  
4. 組合員の事業又は生活に必要な物資の供給  
5. 組合員の事業又は生活に必要な共同利用施設(医療又は老人の福祉に関するものを除く。)の設置  
6. 農作業の共同化その他農業労働の効率の増進に関する施設  
7~21 略

沿革 呉市,旧四町の農業協同組合が合併により呉農業協同組合として設立された。

江田島市から交付された平成20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成20年度補助金額 7,029,000円  
(うち県補助金額 4,686,000円)

1. 事業計画書,予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書,実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額,受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は,決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 定款等は整備されている。

### まとめ

広島県の園芸産地構造改革推進事業を活用して,花き栽培施設のビニールパイプハウスを整備し,産地の遊休施設受け手,新規就農者の受け入れ・育成,地元雇用の創出を目的に,スイートピー生産を主体とした経営を行う農事組合法人スイートピー能美島ヘリス(賃貸)されている。今後,リースされた物件を有効活用し,経営の安定に努め地域の中核農家として農業基盤の確立を図ることを望む。

## 10 江田島市観光協会

所在地 江田島市江田島町中央一丁目3番10号

設立 平成17年4月25日

役員 会長 中島 勝  
副会長 住岡 淳一  
大勢登 正  
濱野 博道  
専務理事 宝 克明  
理事 14名(会長,副会長,専務理事を除く)  
監事 2名

会員数 172名(法人,団体,個人) 平成21年4月1日現在  
内訳 江田島町 46名 能美町 42名  
沖美町 21名 大柿町 58名 市外 5名

事業 1. 広域観光ルートの整備促進  
2. 観光振興のためのイベントの企画・運営  
3. 観光関連資料の収集整備と情報の提供  
4. 観光地の美化・観光案内施設の整備等観光地の環境整備  
5. その他本会の目的達成に必要な事業

沿革 旧四町の観光協会が,新市誕生により江田島市観光協会として設立された。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 13,015,000円

平成20年度補助金額 12,364,000円

1. 事業計画書,予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書,実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額,受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は,決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 規約は整備されている。
5. 会計処理については,3月31日までに処理されたい。

まとめ

江田島市の持つ優れた観光資源を活用して,観光振興のためのイベントを企画して関係機関団体と連携し,県内外に情報発信し,官民一体となって観光客の誘致拡大に努められたい。また,広域観光ルートの整備促進も急務と思われる。

## 11 江田島市商工会

所在地 本 所 江田島市江田島町小用二丁目17番1号  
能美支所 江田島市能美町中町4940番地  
沖美支所 江田島市沖美町三吉2776番地  
大柿支所 江田島市大柿町大原1118番地2

設 立 平成20年4月1日

役 員 会 長 濱 野 博 道  
副会長 大勢登 正  
中 島 勝  
理 事 30名  
監 事 2名

会員数 811名 平成22年3月5日監査日現在  
内訳 江田島町 293名 能美町 161名  
沖美町 113名 大柿町 244名

事 業 1. 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと  
2. 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること  
3. 商工業に関する調査・研究を行うこと  
4. 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること  
5. 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと  
6. 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること  
7~12 略

沿 革 旧四町の商工会が新市誕生により、平成20年4月1日付けで江田島市商工会として合併した。

江田島市から交付された平成20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成20年度補助金額 9,574,000円

1. 事業計画書、予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書、実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額、受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は、決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期末における現預金の残高は、現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 定款・諸規程等はすべて整備されている。

## まとめ

景気の回復が難しい状況の続くなか、少子高齢化に伴う後継者不足や売り上げ不振が原因で廃業が増加しているため商工業者は減少し、商工会においても会員が減少傾向である。高齢化・過疎化が進む地域においては商工会が地域経済を担う基幹団体の一つとして、地域に貢献することがますます必要になっており、関係団体と連携し、地域経済の発展に寄与されることを望む。

## 12 江田島市体育協会

所在地 江田島市大柿町大原505番地

設立 平成16年11月1日

役員 会長 奥迫 等  
副会長 澤 裕 幸  
世良田 治 彦  
上 林 太  
会計 小村 昌 三  
監事 平井 克 宏  
井上 文 江

会員数 2,071名 平成21年9月30日現在

事業 1. 各種スポーツの指導,普及及び育成  
2. 各種スポーツ行事の開催及び参加  
3. 関係団体との連絡調整  
4. 地域スポーツの振興と発展に寄与する  
5. 会員の研修  
6. その他体育協会の目的達成に必要な事業

沿革 旧四町の体育協会が新市誕生により,江田島市体育協会として設立された。

江田島市から交付された平成19・20年度の補助金額は下記のとおりである。

平成19年度補助金額 4,050,000円

平成20年度補助金額 4,050,000円

1. 事業計画書,予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書,実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額,受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は,決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における預金の残高は,預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 規約,諸規程等はよく整備されている。

### まとめ

設立してから旧町時代の事業を引き継いだ感はあるものの,ファミリー駅伝大会のように新規の事業を行い,参加者は合計で1万人を超えている。今後も,スポーツの普及・発展と健全な心身の育成のため,役職員一丸となって事業活動されることを望む。

終わりに

このたびの監査にあたり，誠意をもって対応していただいた関係者の皆様  
に対して深甚なる敬意を表します。

また，各団体を管轄する関係部局の担当者の前向きな対応に感謝いたしま  
す。